

(別紙様式1)

## 平成29年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 鹿児島県  
農業委員会名： 大和村農業委員会

### I 農業委員会の状況(平成29年4月1日現在)

#### 1 農家・農地等の概要

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	170	農業就業者数	90	認定農業者	7
自給的農家数	98	女性	41	基本構想水準到達者	0
販売農家数	72	40代以下	1	認定新規就農者	0
主業農家数	5	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	0
準主業農家数	15			集落営農経営	0
副業的農家数	52			特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1	118	63	55	0	119
経営耕地面積	0	46	14	32	0	46
遊休農地面積	0.3	20	20	0	0	20
農地台帳面積	32	370	315	55	0	402

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

#### 2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 H 2 9 年 7 月 1 9 日

	選挙委員		選任委員				合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	
農業委員数	7	6	—				6
認定農業者	—	3					3
女性	—	0					0
40代以下	—	0					0

## II 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	119ha	1ha	0.84%
課 題	全体的に不在地主等所有者不明の農地が多いことや農業従事者の減少、高齢化により利用集積が進みにくく農地の確保・有効利用を図る上で課題となっている。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 平成29年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積	0.5ha	(うち新規集積面積	0.5ha)
	目標設定の考え方: 農地所有者の意向調査を実施して、農政担当課と連携のもと利用集積対策を講じる			
活動計画	・8月～10月 農地の利用状況調査後、担い手への集積が可能か所有者の意向調査を行う。 ・10月～11月 農家の意向調査を踏まえて、円滑な権利移動ができるように支援体制を強化する。			

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

## III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

### 1 現状及び課題

新規参入の状況	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数	28年度新規参入者数
	1経営体	0経営体	0経営体
	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積	28年度新規参入者が取得した農地面積
	0.3ha	0ha	0ha
課 題	農業従事者の高齢化が進んでおり、地域に合わせた新規就農者の育成確保を図っていく必要がある。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

### 2 平成29年度の目標及び活動計画

参入目標数	1経営体	参入目標面積	0.5ha
活動計画	意欲ある農業者の情報収集をおこない制度の周知・普及を行う。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

#### IV 遊休農地に関する措置

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	139ha	20ha	14%
課 題	農地の情報整理と遊休農地の所有者等への指導徹底へ向けた対応が必要。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入  
 ※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

##### 2 平成29年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 2 ha		
	目標設定の考え方:遊休農地の所有者に意向調査を実施して、遊休農地活用のため情報提供等を行いながら2haの遊休農地の解消を目指す。		
活 動 計 画	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	8人	8月～10月	10月～12月
	農地の利用状況調査	調査方法	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内全域を調査区域とし、一筆ごとに調査する。</li> <li>・調査地区を各集落単位に設定して農業委員を定めて調査。</li> </ul>	
農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	12月～1月	1月～3月	
その他			

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入  
 ※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない  
 ※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

#### V 違反転用への適正な対応

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成29年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	119ha	0ha
課 題	広報誌等による違反転用防止の周知を行い定期的な農地のパトロールにより違反行為の早期発見,適切な指導を継続的に実施することが必要。	

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入  
 ※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

##### 2 平成28年度の活動計画

活動計画	8月～10月に農業委員・職員等合同の農地パトロールを実施する。
------	---------------------------------

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入